

七誌

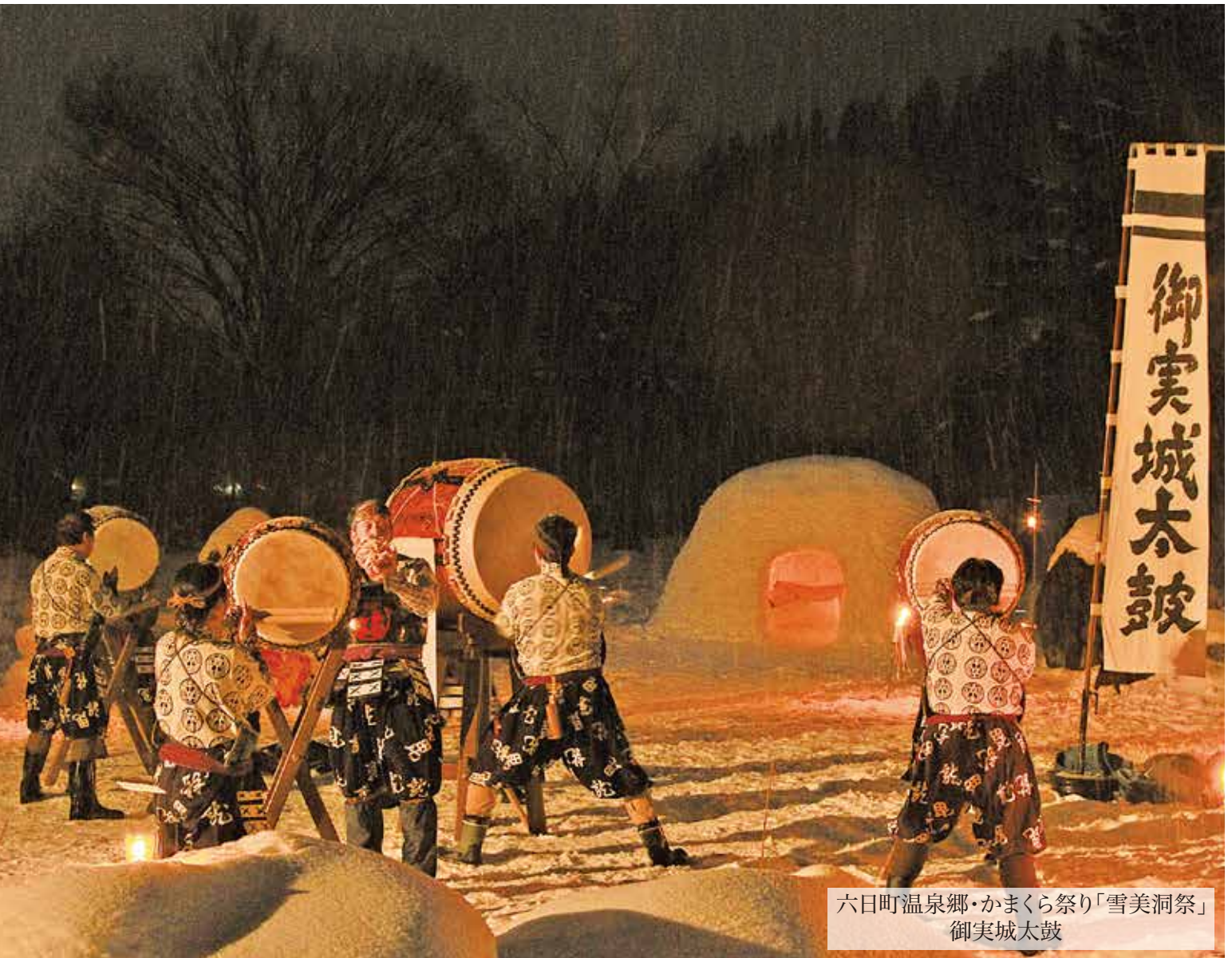
福又利穂 さん書

2

Vol333
2020/2.15



医療法人社団萌気会
在宅療養支援診療所 (二日町)
在宅療養支援有床診療所 (浦佐)



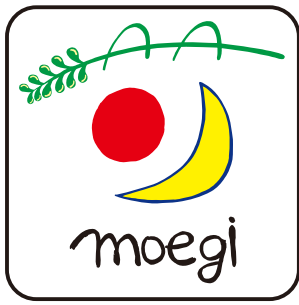
六日町温泉郷・かまくら祭り「雪美洞祭」
御実城太鼓

- 2P…季々雑感
- 3P…医を志す方々へ
- 4P…漫画 黒岩卓夫一代記
- 5P…萌気100年プロジェクト
- 6P…初釜 2020
- 7P…こども園まめまき
- 8P…萌気園浦佐住宅型老人ホーム
ハイマートハイム・島田



2月23日(日) びしゃもん茶房
(10時~12時)





季々雑感

萌気園二日町診療所 院長 皆川 秀夫



例年ならあるはずの雪に埋まった田園風景がない。雪が降らず雨が多い。上空に寒気の流入がない。寒波が来ない。最低気温も平年より高い。当地の風景は3月頃の関東地方のそれである。向こう1ヶ月の北陸地方の予想でも平均気温は高め、降水量は平年並みか少なめ。降雪量は少ない見込み。近年全国各地で繰り返される50年に一度という異常気象が当地でも起こりつつあるのか。地球規模の温暖化をひしひし感じられる。産業革命以来の生産活動に伴う気温上昇が加速した感もある。

現在オーストラリアの森林火災は4ヶ月以上鎮火の気配がなく続いている。テレビでは野生動物の焼死体が累々と続く光景が報道されている。日本や各国から

い。さらにオーストラリア上空には以前からオゾンホールがあり紫外線も多量である。すでに隣国のニュージーランドでは氷河が赤茶色に染まっているということだ。これに対して南半球の南米コロンビアやブラジルのアマゾンで森林火災が多発している。こちらは熱帯雨林で消火に難しいことはないようだが、最高指導者が農地、牧草地開発を積極的に指導奨励しているとのことで、放火が繰り返されるゆえんであろうと言われている。世界中の熱帯雨林は二酸化炭素（温室効果ガス）の巨大な収納庫であり、水蒸気の放出で雲を作り出し雨を降らせる。大気と水の循環に有用に働いていると考えられる。開発、すなわち地球環境の破壊となり人類の生存に重大な影響を及ぼしかねないところまで事態は進んでいるかもしれない。

今年の暖冬も南半球の森林火災と関係があるかもしれない。例年の黄砂とともに中国大陸からpm2.5、さらには新型コロナウイルスも飛んでくるかもしれない。気候も災害もグローバルになったものだ。スウェーデンの環境活動家のグレタ＝トゥンベリさんの言うように一人一人が何かやらねば、取り返しがつかないようになるかもしれない。



応援部隊も派遣されているが、ユーカリの木は油分が多く燃え易く消火に難渋しているらしい。近年オーストラリア内陸は乾燥化が進み、昨年からの少雨、高気温はこれまでにない最大級のものと言われていて容易に消火できる状態ではな



医を志す方々へ

萌気会事務局

ICT担当主任・診療放射線技師

清水 格

令和元年12月22日より医療法人社団萌気会の事務局にICT担当主任を拝命いたしました。就任にあたり、ご挨拶を申し上げます。

私は大阪府の出身で「診療放射線技師」の免許を取得し、医の道を志し病院で放射線の業務を行っていました。そこでは紙の運用が中心で、良い意味手を抜きたい衝動にかられパソコンを1台購入しました。関連図書を読み漁り、データベースソフトで簡単な業務アプリケーションを作成した結果、業務が効率化できることを知りました。他の科も同様に放射線科みたいに効率化して欲しいという依頼を受け対応していったところ、いつのまにか病院全体にまでかかわる様になりシステム担当者になっていました。もっとスキルを上げていかないと迷惑がかかると考え「医療情報技師」という免許を取得しITスキルを上げ、病院全体が効率的に楽しく業務ができるように必要と思われるシステムの導入を行ってきました。次にシステムが入ると医療情報がデータとして出力できるので、様々な分析が可能になります。医療情報のフィードバック、経営戦略にも役に立つことがわかりこのデータがいかに大切な事だと知りました。この担当でも生半可な対応では迷惑がかかると思い「診療情報管理士」という免許も取得し現在にいたります。

大阪では、ほぼやり切った思いもあり、ご縁がありました高知県の高知医療センターへ転職することになり、今度は放射線技師の業務ではなく医療関連の分析、経営改善などの業務を行って来ました。皆さんより、なぜ高知県から新潟県に来たのかといつも聞かれるのですが、デスクワークだけではなく、放射線技師やシステム、経営分析など今まで経験をしてきた知識を全て出せる医療機関を全国で探していたところ、萌気会が放射線技師の募集をしていました。お話を伺うと私のキャリアを認めて頂くことができ、お世話になることになりました。

ICTという言葉はあまり聞きなれない方が多いかと思いますが、Information and Communication Technologyの略で、情報・通信に関する技術の総称になります。従来から使われているIT (Information Technology)に代わる言葉として一般的に使われるようになりました。

近年の情報分野のICTは目覚ましい進歩を遂げていますが、もちろん医療分野でもシステム化が進み当法人でもシステム化が進んでいます。患者様、利用者様にはさらに良い医療・介護を提供できるようICTを利用し進めて行きたいと思っております。また職員の皆様にも効率的かつ快適に業務が行えるように、ICTを提供できるよう進めてまいります。

法人内の各事業所には一度ご挨拶に行かせて頂いただけで、皆さんの顔、お名前もわかっていない状況ですが、法人内のICT化を進めるにあたり、各事業所に足を運びお話をさせて頂き、進めて行きたいと考えています。

まだまだ不慣れで皆様にご迷惑をおかけすることが多々あると思っておりますが、日々精進してまいりますので宜しくお願い申し上げます。



父は満州帝国の医師になり、開拓団で働いたが敗戦帰国して“ただの人”になった。そこで国は特別国家試験（3回受験可）を課し、58歳で医師になった。6歳で亡くした母の遺言を52年かけて実現した。卓夫少年が高1の時だった。

④ 国立大学入試は前期と後期と2群に分けられ2校の受験ができた。あとは大学にまかされ、東大は1次・2次とあり、1次で6倍まで足切りをした。



萌気会フィロソフィー

| | |
|--------|-----------------------|
| 理想像 | 楽しさと生きがいに満ちた、魚沼地域の実現。 |
| 使命 | 一人ひとりの夢と誇りを育む。 |
| 約束 | 魚沼に、もっとワクワクを。 |
| 価値観・姿勢 | 楽しむ。 |

5月より約1ヶ月のインナー調査を実施し、萌気会に対しての内部の方からの評価、及び萌気会が抱える課題を導出。理事長を含む5名を対象にトップインタビューを実施し、萌気会が実現したいと願う姿、そこに向けて果たしていくべき萌気会の使命を導出しました。若手からベテランまで幅広い職員を対象に1.5日間×2日のワークセッションを経て、合計56名の職員により、萌気会のブランド・ガイドラインの作成を実施してきました。

ここに「100年続くための萌気会のフィロソフィー」を定め報告いたします。

魚沼に、もっとワクワクを

萌気宣言

私たち萌気会グループは、地域でいちばん身近な存在として魚沼という地を、楽しさと生きがいに満ちた魅力溢れる場にしたい。これまで以上に、子どもからお年寄りまで、この地域に誇りを一人ひとりの夢と誇りを育んでいきます。

人と人、人と地域をつなげ、魚沼に、もっとワクワクを。萌気会グループに、ご期待ください。

萌気の新規事業を本気で考えてみた

萌気園通所リハビリセンター浦佐 理学療法士 山田 春樹

先日行われた萌気100年プロジェクト活動報告会の中で、私が提案した「MOEGI実業団チーム創設」案が紹介されました。

報告会に先立ち、昨年10月にワークショップが開催され、その中のワークの一つに「新規事業を考える」というものがありました。私はそこで「実業団チーム」を作るという案を出しました。「なぜ実業団？」という声があちらこちらから聞こえてくるようですが、実業団とはチームを有する企業の社員が選手となり競技を行います。

言うまでもなく、スポーツは私たちの心を熱くさせます。南魚沼、萌気会に実業団ができれば、地域には人が集まり、この小さな町が熱狂の渦に包まれるのではないかの想いで、先の案を提案しました。

もちろん、実現するかどうかはわかりません。しかし、皆さんも想像してみてください。「おらが街のチーム」がテレビの向こう側で活躍する姿を。想像するだけでワクワクします。

何事も楽しんだもの勝ちだと思います。一度きりの人生、やりたいことは口に出すことで実現に近づきます。日々楽しかったと言える毎日の実現を目指したいですね。



初釜 2020

萌気園通所リハビリセンター浦佐

青木初美さん

初釜とは、正月を迎えたことを祝い、
新年に初めて釜をかけること。

リハビリセンター浦佐では毎年恒例のお茶会があります。きっかけは、ご利用者の青木初美さんが、小学校へ茶道ボランティアに行っている事でした。ぜひリハビリセンターでも、と言う事から始まりました。朝から着物で来所し、茶こしから始まり本格的です。他の方にも着物を着る機会をと、佐藤サダさんに着て頂きました。青木さんからお茶の点(た)て方を教わり「初めての経験でとてもうれしかった」と喜ばれていました。お半東さんの職員の着物姿にも、いつもと違う雰囲気であげられていました。1月27日の利用者50人、病棟患者さん、職員と大勢の方たちに点てていただきました。巖志院長にもお声掛けし、忙しいなか来ていただきました。

巖志院長

佐藤サダさん



2月3日は節分。「鬼は外、福は内」の元気な掛け声とともに豆をまいて邪気を追い出し、幸せがやってくることを願います。江戸時代、厳しい自然・寒さの中で暮らしていた当時の人々は、冬から春になる立春を一年の始まり。(旧暦、正月).とし、その立春前日の節分。(旧暦、大晦日.=現、2月3日)を、「一年を無事に過ごせ、新しい年を迎えられる日」として最も尊んでいました。

この度、浦佐認定こども園にも鬼がやってきました。子供たちは、「鬼は外、福は内」と元気に掛け声を出し、豆をまいて鬼を退治したりしました。子供たちが一年間健康で過ごせることを祈っております。

大和通所介護「地蔵の湯」所長 桑原 哲也



萌気園通所リハビリセンター—浦佐



萌気園三日町診療所
曼陀羅華



萌気園大和通所介護
地蔵の湯



萌気園浦佐住宅型有料老人ホーム

ハイマートハイム・島田 ~故郷の家~

(施設概要) 木造平屋・共同浴場・厨房・共同リビング
17部屋 定員17名

- 平成22年に開設された住宅型有料老人ホーム。
- 萌気園浦佐診療所と併設のヘルパーステーションの協力連携で医療・介護をサポートし、安心して住める家です。
- ハイマートハイムはドイツ語で「故郷の家」と言う意味です。
- 食事は温かい手作りを提供します。他にも入浴など皆さんの生活に合わせて支援しています。



入居者さんに伺いました

Q ハイマートでの暮らしはいかがですか?
「楽々して楽しい」「このままで上等です」
Q 今の楽しみはどんなことですか?
「息子が来るのが楽しみ。息子はかわいいて。今度孫が結婚するがだ」
「フロアへ来てご飯を食べるのが楽しみだ」
「外の様子を眺めること」
ありがとうございます。
これからも皆さんの、思い思いの生活を一丸となってサポートさせていただきます。
人生の先輩の色々なお話を聞かせてください。

みのりの会



8年前に萌気園二日町診療所「曼陀羅華」の職員4名で結成しました。踊りを通じて萌気会の介護施設を中心に、近隣の介護施設のイベントに訪問ボランティアとして伺っています。利用者さんと共に楽しさ、喜びを感じて行けるような活動を行っていききたいと思います。

左写真: 右上段 通所リハビリセンター浦佐 外角洋子 左上段 元職員 中嶋ミチ子
左下段 萌気園二日町診療所「曼陀羅華」種村巳代子 右下段 元職員 上村美代子



編集後記

萌気園有料老人ホーム すみれ草 川部 伊佐夫

「こんなに雪のない冬は初めて」と皆が口をそろえる暖冬が続いています。皆川先生が本誌のコラムで地球規模の温暖化について触れられていました。地球は今後どうになってしまうのかと心配になってしまいます。

最近よく聞かれるのが「SDGs」(エスディージーズ)という言葉です。エスディージーズとは、国連が策定した、「持続可能な開発目標」(2030年までの達成すべき、貧困、教育、平等、地球環境、技術革新などの17の目標)というもので、その約束としては「地球上の誰一人として取り残さない」だそうです。地球全体で取り組まなければ取り返しがつかない課題ばかりです。

い課題ばかりです。

国連は17の目標を達成すべく、先頭を切って研究実践するハブ大学を世界中から選定しました。東アジアで唯一選ばれた大学が、なんと新潟県の「長岡技術科学大学」との事です。目標の内容は「産業と技術革新の基盤をつくる」。世界に発信する技術革新のメッセージが新潟発なんてドキドキします。

エスディージーズの目標の3番目は、「すべての人に健康と福祉を」です。いよいよ萌気会も100年プロジェクトをスタートします。グローバルな目標達成に貢献できる法人になりたいですね。

「魚沼に、もっとワクワクを」を合言葉に。